

柴田智子

Pick up artist

ソプラノ



柴田智子 しばたともこ

ソプラノ

NY在住の経験が長く、米国の劇場音楽を日本の聴衆に紹介するのをライフワークとする練達のソプラノ。クラシカルクロスオーバー・シンガーの草分けとしても知られる存在。近年は「ファンエイジング」を提唱し主婦の友社から『年齢を重ねるほど幸せになる生き方』を出版するなど多方面で活躍。二期会会員、東京室内歌劇場会員、昭和音楽大学講師、自由が丘オペラハウス代表。

シアターピースのように紡ぐ クリスマス・コンサート

知られざる米国歌曲から
日本の唱歌まで盛り沢山

アメリカ音楽の魅力を伝える第一人者として、クラシックというジャンルを超えて発信するソプラノ、柴田智子。彼女が主宰するアメリカカン・シアター・カンパニーのプロデュースによるクリスマス・コンサートが登場。「いつも応援して下さる皆様に贈る音楽のプレゼント。日頃の疲れを癒し明日への活力になるような選曲です。」才媛コンポーザー・ピアニスト、森田花央里の新編曲によるフォスター（金髪ジェニー）で幕を開ける前半には、知られざるアメリカ歌曲も目白押し。1934年にアーネスト・チャールズによって書かれた（私が私の歌を歌った時）は歌姫たちのアンコール・ピースとして人気を集めた佳曲。オペラやミュージカル・シーンで活躍する現代作曲家、リッキー・イアン・ゴードン作の2曲は本国でも歌われ

る機会はそれ程多くはないかもしれない。

「星たちよ」に出会った瞬間、私の感性がぱっと花開くのを感じた。朝は本当に来るのかしら？も長年連れ添ったパートナーの死に際して想い出を綴った美しい歌です。どちらもゴードンさんの世界観が現れていますね」

彼女ゆかりのバインスタイン作品も楽しみだが、珍しいのは「月の沙漢」や「シャボン玉」など日本の唱歌。

「これまでなかなかしっくりとくるアレンジにめぐり会えなくて何となく避けていました。今回、チェリストの横溝宏幸さんの編曲で物語がシアターピースのように浮かび上がり、私の唱歌に対するイメージも変わりました」

**将来を期待される若手3人
Juicy Boysがゲストで登場**

後半には舞台を中心に活動を続け、将来を期待される若手男性ヴォーカ

リスト「Jeitry」、ユーリック武蔵「たいしろ」の3人がゲストで登場。

ユニット「Juicy Boys」を結成してクリスマスに因んだナンバーなどを披露。特に今年のトニー賞作品賞ほか主要部門で独占したミュージカル『The Band's Visit』（迷子の警察音楽隊）からのナンバーを、ジャズ・シンガーとしても人気のユーリック武蔵がソロで歌い上げる（他の二人もコーラスで参加）ステージにも注目したい。また、あらゆるジャンルに精通しライブやレコーディングに引っぱりだこのベシスト、絲井勇太と柴田智子のデュオによるオペレッタ『メリー・ウィドウ』（ウイリアムの歌）なども目玉だ。そして最後は全員で「Oh Holy Night」（さやかに星はきらめき）などの定番キャロルを厳かな雰囲気です。

「時代を問わず世界中の素晴らしい音楽に今の私の感性を重ねて新しい曲としてお届けしたい。ご期待下さい！」

【公演情報】
Stars & Hallelujah for Christmas 2018
With Juicy Boys
2018年12月15(土)
18:30 開演(18:00開場)
会場：豊洲シビックセンターホール
全席自由 一般：6000円、学生：4000円
出演：柴田智子(ソプラノ)
森田花央里(ピアノ/編曲)
横溝宏幸(チェロ/編曲)
絲井勇太(ベース)
Jeitry / ユーリック武蔵 / たいしろ
【お問い合わせ】
株式会社TSPi
TEL.03-3723-1723
info@tspi.co.jp
Confetti(カンフィティ)
TEL.0120-240-540(平日10～18時)
http://www.confetti-web.com/



取材・文：東端哲也